

平成28年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月7日実施)	総合評価 (3月22日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>①学習意欲や思考力・判断力・表現力等を高める授業改善に取り組む。</p> <p>②より高い進路実現に対応した教育課程を編成する。</p>	<p>①県立高校改革(I期)におけるICT利活用授業研究推進校として初年度の授業改善を推進する。</p> <p>②現行の教育課程に係る課題を明確にし、全職員が共有する。</p>	<p>①アクティブ・ラーニングの視点を踏まえた授業づくり及びICT利活用授業について、1回以上研修会・研究授業を開催し、職員全体の意識を高める。</p> <p>②短期的及び長期的課題を明確にし、共有するため教科代表者会議を計画的に実施する。</p>	<p>①生徒による授業評価アンケートの分析や研究授業後の協議などを通じて組織的な授業改善の取組ができたか。</p> <p>②教育課程に係る課題を明確にし、共有できたか。</p>	<p>①生徒による授業評価アンケート結果を元に授業改善を進め、多くの教科で生徒の主体的学習を促進できた。</p> <p>②短期的な課題を解決するとともに(平成29年度入学生3年次必修選択科目の一部修正)、自由選択科目の群配置に関して問題を提起し、全体の意識を高めた。</p>	<p>①様々な教科・科目の効果的な事例を共有し、全体として授業改善を継続すべく、教科会議等で手立てを検討し、来年度の年間指導計画に反映させていく。</p> <p>②平成29年度入学生3年次の課題(選択方法、使用教室数の試算など)を引き続き検討するとともに、長期的な課題(次期学習指導要領を踏まえた本校の教育課程)の解決に向けて、各教科の意向を集約しながら、検討を継続する。</p>	<p>①授業改善の工夫によって、全ての生徒が学習意欲をより高め成果をあげることが期待される。(学校評議員)</p> <p>②選択科目について、進学希望に応じたより幅広い科目設定が望ましい。(学校評議員・保護者)</p>	<p>①昨年度に比して、生徒の主体的な学習意欲を高めることができたが、今後、有効事例の共有など、組織的な授業改善をより前進させることが課題である。</p> <p>②平成29年度入学生3年次必修選択科目について修正することができたが、その運用に関する準備及び学習指導要領改訂に向けた教育課程の見直しが課題である。</p>	<p>①研修会・研究授業・授業互見を充実し、教科会議等で手立てを検討し、年間指導計画に反映させる。</p> <p>②平成29年度改訂予定の次期学習指導要領を踏まえ、平成34年度からの年次進行実施(予定)に向けた検討を開始する。</p>
2 生徒指導・支援	<p>①学校行事・生徒会活動等を通じ、望ましい生徒集団を育成する。</p> <p>②部活動の活性化を図り、安全面に配慮した活動や地域に貢献する意識を高める。</p>	<p>①生徒の主体的な学校行事・生徒会活動の企画運営に係る組織的な支援体制の見直しを図る。</p> <p>②部活動におけるけがや熱中症などの予防に努め、安全面に十分配慮した部活動運営の環境整備に努める。</p>	<p>①各行事・活動ごとのねらいや、行事・活動を通じて育みたい力を具体化する。</p> <p>②顧問総会、部員総会の開催時に、必ず職員・生徒に安全面の配慮を啓発する機会を設ける。</p>	<p>①組織的な支援体制について、関係グループや各学年で共通理解を図り、検討を進めることができたか。</p> <p>②安全対策啓発の結果、けがや熱中症などの予防に効果を上げることができたか。</p>	<p>①体育祭運営指導に当たり、生徒間で主体的に応援規定等を遵守できるよう共通理解を図ったことを始めとして、「主体性及び自他を尊重する態度の育成」に向けた支援体制を見直すことができた。</p> <p>②顧問総会(1回)や生徒の各部長会(7回)を通して、部活動に係る啓発を充実させ、重大事故発生を防止した。</p> <p>③地域の活動に複数の部活動で参加することができた。(実績12回)</p>	<p>①多くの生徒が学校行事や生徒会活動に主体的・積極的に参加する中、自己表現が苦手な生徒を支援する必要性があり、支援体制の見直しが課題である。</p> <p>②一般的な傾向として通学時の交通事故や事件が増加する中、交通安全指導の充実や通学路の安全環境整備が必要である。</p> <p>③普通救命講習でAEDの取り扱いを通して学んだことを生かし、今後もいのちの尊重やケガの対処について理解が深められるような機会を設けたい。</p>	<p>①生徒が学校行事や部活動で活躍する姿を見るにつけ、PR力が弱いように感じる。他校の多くの吹奏楽部は、市の広報紙に演奏会の情報を載せている。ホームページにも、生徒の活動の様子がかかるような記事をもっと載せるとよい。(学校評議員)</p> <p>①地域の町内会から、体育祭・文化祭のポスターのサイズが大きく、掲示板のスペースとマッチしないので検討してほしいと要望があった。(学校評議員)</p>	<p>①生徒に育みたい力を明確にし、「主体性及び自他を尊重する態度の育成」に向けた支援体制の見直しを図ることができたが、並行して「個に応じた相談・支援」体制の充実も課題である。</p> <p>②部活動の安全対策に係る啓発を充実させ、重大事故発生を防止することができたが、交通安全指導の充実や通学路の安全環境整備が課題である。</p>	<p>①教育相談コーディネーターを中心に、ケース会議の開催や学校カウンセラー等と連携した支援体制のより一層の充実に努める。</p> <p>②生徒への啓発機会を確保するとともに、PTA交通安全委員会と連携して交通安全意識の向上を図る。</p>

3	進路指導・支援	<p>①より高い進路実現に向けた計画的な学習を促す支援・指導の充実を図る。</p> <p>②進路指導に係る最新の情報収集に努め、組織的な進路指導の充実を図る。</p>	<p>①模擬試験の結果分析等により三者面談の充実を図る。</p> <p>②最新の情報収集のために外部情報を精査し、活用の仕方を研究する。</p>	<p>①3年生の三者面談時に、模擬試験の結果を踏まえた指導を行う。</p> <p>②外部情報の活用方法などに係る教員向け研修会を1回以上開催する。</p>	<p>①3年生の全クラスで模擬試験の結果を踏まえた指導を実施できたか。</p> <p>②教員向け研修会を実施し、アンケートを分析して今後の改善に活かされたか。</p>	<p>①全クラスで、模試データに基づき全国の情報・状況を踏まえた進路指導を実施することができた。</p> <p>②外部講師による研修会を1回開催し、情報収集・活用方法の改善策を知ることができたが、組織的な進路指導の根本的な課題を整理するまでには至らなかった。</p>	<p>①担任、進路担当者個人が得た情報・知識・技術などを組織で共有できるよう、教員向けの手引書作成や、研究会の設定など、一層の充実を図る必要がある。</p> <p>②最新かつ効果的な情報の収集に努めるのみならず、情報の発信方法について、従来の方法にとらわれずに柔軟性をもって検討する。さらに、生徒の進路選択・決定力を高められる研修も取り入れる。</p>	<p>①模試の結果を踏まえた三者面談が夏季休業中に実施されたのはよかったが、できれば12月くらいに併願校も含めて相談できる面談があるとよい。(保護者・学校評議員)</p> <p>②より高い進路実現をめざし、チャレンジしてほしい。(学校評議員)</p> <p>③最新の情報をもった外部講師による教職員研修の実施は意義があると思う。(学校評議員)</p>	<p>①模試データに基づく進路指導を開始することができたが、効果的な指導に向けた情報共有体制の構築が課題である。</p> <p>②職員研修会を開催することができたが、今後は生徒への情報発信方法の改善も含め、組織的な進路指導力の向上が課題である。</p>	<p>①進路支援グループ内で、模試データに基づく進路指導と、より高い進路実現を結びつける指導モデルを構築する。</p> <p>②現行の進路指導における課題を整理し、各学年との共通理解を図る。</p>
4	地域等との協働	<p>①創立110周年を節目とした、地域や保護者との新たな協働体制を構築する。</p> <p>②地域と連携した防災活動を推進し、地域に信頼される学校づくりを進める。</p>	<p>①創立110周年記念事業を通して、地域や保護者との協働体制の活性化を図る。</p> <p>②地域と協働した防災活動等を設定し、地域社会の一員であることを実感できるよう支援する。</p>	<p>①創立110周年記念実行委員会を、地域や保護者との協働体制により、企画、運営する。</p> <p>②年3回以上、地域貢献活動等を設定し、生徒の地域貢献に対する意識を高める。</p>	<p>①地域や保護者と連携した組織体制のもと、創立110周年記念式典を企画、運営することができたか。</p> <p>②地域貢献活動等への参加人数は増加したか。地域貢献への意識は高まったか。</p>	<p>①周年行事の実行委員会をPTA、同窓会等で組織し、創立110周年記念式典を開催した。</p> <p>②1、2学年の生徒約350名が地域貢献活動に参加した。また、20の部活動422名の部員が通学路清掃を行った。4つの部活動74名の部員が近隣町内会の行事に参加した。</p>	<p>①4月～10月の実行委員会により、効率的で充実した内容の周年行事を実現することができた。記念誌等の資料や映像等のデータを保管・保存する環境整備が今後の課題である。</p> <p>②地域貢献活動への参加は約772人であり、地域貢献に対する生徒の意識を高める機会となった。次年度は、3年生の地域貢献活動参加時期や形態に工夫が必要である。</p>	<p>①110周年記念式典が盛大に行われる中、欠席する生徒が多かったとも聞いた。式典の意義を理解させる指導が必要だったのではないかと。(保護者)</p> <p>②地域清掃をはじめ、町内会の餅つき大会は大津生がないと成り立たない。有り難いことである。(学校評議員)</p> <p>③行政センター主催の行事にも多くの部活生徒が参加してくれて有り難い。来年は科学部が夏休みの小学生向け講座を担当してくれる。(学校評議員)</p>	<p>①記念式典をはじめとする周年行事を全て計画どおりに実行することができた。今後、校史資料室の有効な活用や維持運営が課題である。</p> <p>②昨年度以上の生徒が、地域貢献活動に参加することができたが、地域貢献への意識が高まったかの検証にまで至らなかった。</p>	<p>①校史資料室運営委員会と連携し、三浦半島最古の県立高校として保有する諸資料の教育活動への利活用を検討、教育課程に位置付ける。</p> <p>②地域貢献活動に参加した生徒の感想を発信するなどの手立てを検討し、実践する。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>①事故・不祥事防止の徹底と計画的な教職員のOJTを推進する。</p> <p>②施設・設備の管理を徹底するとともに、生徒の学習環境を向上させる。</p>	<p>①実践的な職員研修を計画的に実施し、事故・不祥事防止に対する職員の意識向上を図る。</p> <p>②施設・設備の日常点検を徹底すると共に改善箇所を迅速かつ効果的な手当てを実行する。</p>	<p>①各グループリーダーによる研修など、職員主体の事故・不祥事防止研修会を開催する。</p> <p>②事務職員と現業職員とで定期的に見回り・点検を実施し、異常箇所が小破修繕困難な場合応急措置後、すみやかに業者対応、併せて本課に報告する。</p>	<p>①事故・不祥事防止会議の回数が昨年を上回り、職員の意識が高まったか。</p> <p>②施設・設備の問題点を的確に把握し、迅速に整備することが出来たか。</p>	<p>①事故・不祥事防止会議は職員会議等を活用し21回開催、昨年度を上回った。うち7回は、各G・Lによる職員主体の研修会で、意識向上とともに事故・不祥事を防止した。</p> <p>②HR教室の床の剥離箇所について、本課執行による一部教室の床修繕を実現させた。</p>	<p>①職場のOJTをさらに進めて、主体的に事故・不祥事防止に努める実践力を向上させる。</p> <p>②床の張替えが未施行な箇所について、引き続き所管課に働きかけを行い、修繕を実現させ、生徒の学習環境の向上に努めたい。</p>	<p>①事故不祥事防止の取組みを一生懸命やっているのが分かる。これから人が替わっても、継続してほしい。(学校評議員)</p> <p>②調理室の設備の老朽化について課題があると聞いたので、改修も含めた改善が望まれる。(保護者・学校評議員)</p>	<p>①昨年を上回る事故・不祥事防止会議を開催し、事故・不祥事を効果的に防止したが、次年度以降の継続が課題である。</p> <p>②剥離の著しいHR教室の床張替えを実施することができたが、さらに未施行箇所を張替える必要がある。</p>	<p>①今年度の取組みを確実に引き継ぎ、職員主体の事故・不祥事防止研修会を発展的に開催する。</p> <p>②関係部署と連携し、迅速な張替えに努める。</p>